

おおた社会福祉士会会報

第76号

2014年9月11日発行

発行：おおた社会福祉士会事務局

責任者：田端千英

連絡先：〒146-0082 東京都大田区池上7-13-14

電話・FAX 03-6410-6051

E-MAIL otachikukai@gmail.com



(メール配信への切り替えをご希望される方は、「お名前」と「メール配信希望」の旨をこちらまでお願いします。)

8月定例会報告

「地域医療<大変革>～医療、介護、福祉の連携～」のご報告

ケアマネジメントチーム 三浦 大輔

(在宅医療連携調整窓口 蒲田医師会担当)

今回は、西蒲田にある“在宅医療に特化した”「かわいクリニック」院長の河井誠先生にお話を伺いました。医療の立場から「今後の超高齢者をどう支えていくのか」を課題に挙げ、在宅医療をはじめるきっかけからクリニックの現状・本音や連携等まで、わかりやすくご説明いただき充実した内容となりました。

高齢者は様々な疾患を抱えており、病院だと内科・呼吸器科…等と複数受診することになります。在宅医療の現場では「総合的に診る」ことが求められ、病院ではただ診断→処方するだけであったのが、『発熱され〇〇の薬を処方しました、今週のデイサービスは大事をとって休みましょう…』と医療のみでなく生活全般も視野に入れて関係機関とも連携している、との言葉が印象に残りました。

また、河井先生が在宅医療に取り組むきっかけの話の中では「在宅医療を行っていた医師との出会い」や「病院では、入院間もない患者や家族に退院に向けた説明をしなくてはならなかった」といった心情的な部分に河井先生の人柄が垣間見えた気がしました。

最後に、今後の在宅医療では①在宅医の教育②看取り③認知症や合併症への対応が必要になってくる等の説明がありましたが、特に「夜間コールがあれば基本全例往診する」という言葉に衝撃を受けました。開業の先生方が一番困難だと考えている24時間の【夜間対応も可能】という充実した体制がとられていることは、=(イコール)大田区は非常に恵まれている、と思います。

「在宅でどう亡くなっていただくか、までが医療」と河井先生、大変力強い先生です。

質疑応答では、まだまだ医師の敷居が高いと思われる今年の診療報酬改定による在宅医療への影響は？等々、高い関心が寄せられていました。



リレーエッセイ 「赤ヘルおばさん さっそうと！」 安藤 一子

私は株式会社ケアサービスを定年退職しその後、以前の職業の薬剤師に戻るかどうかと迷った末に、もう少し介護の仕事を続けようと思いを固めました。もともと ①ケアマネジャーは公正中立であるべきと考えていたこと ②職場での人間関係はもうこりこり ③同居している92歳の義理母の面倒をみるには自宅でしかないという一人勝手な理由で独立したのが平成17年8月でした。

早いもので1人ケアマネとして働き始めて9年になります。その間にどれ程、周りの方に助けられたかわかりません。ただただ感謝の気持ちで一杯です。

さてケアマネジャーの仕事は何処までやってもきりがありません。早朝から電話で起こされ「ベッドから落ちたのですぐ来て下さい」とまったなしの要求です。またある時は日曜日でも事務所を開放し、家族との問題解決にむけた相談の場所にもなります。国から報酬単価は低いですし、事業としてはうまみの薄い業種です。ではなぜ自分は止めないのだろうか。「君はなんだかんだ言いながらもこの仕事が好きなんですよ」と言う主人の言葉に尽きるのかもしれない。

来年度の改正で私達ケアマネジャーの仕事内容も大きな変化があると予想されます。しかしどんな制度になろうとも専門家として自立していることが大切ではないでしょうか。それにはアンテナを高くして、常に情報収集をおこたらず、また時間を作っては勉強会に出席し自らレベルアップを図っていかなければ、閉ざされた中でケアマネジメントに陥ってしまう危険性があります。1人だから「これでいい」と思ってしまえば終わりです。常に気を引き締めていかなければなりません。

昨年より、社会福祉士として地域に少しでも貢献できたらとの思いで「おおた社会福祉士会」に入れていただきました。気づきの連続で目からうるこの感がありますが、地域との触れ合いを第一にと今日もご利用者の笑顔に会いたくて、赤ヘルのおばさんはさっそうとバイクを飛ばして大田の町を走り回っていることでしょう。

10月 定例会のお知らせ

日時 : 2014年10月15日(水) 19:00～

会場 : 大田区消費者生活センター2階 第6集会室

テーマ : 地域福祉チーム＝中間報告＝

内容 : 地域福祉チームは活動方針に基づいて会合を積み重ね、活動を展開しています。

昨年度からの取組みの蓄積を踏まえ、地域包括支援センターと介護支援専門員との連携を軸に、連携強化のための行動形態を整理してきました。社会福祉士と他の専門職のみなさんと協働歩調が共有できることを目標として、これまでの活動を報告させていただきます。

講師 : 山田宜廣 おおた社会福祉士会会員(地域福祉チームリーダー)

元全国社会福祉協議会障害福祉部長・高年福祉部長、民生部長

区民公開講座のお知らせ

＝成年後見制度って何ですか？＝

共催：おおた社会福祉士会・大田区・大田区社会福祉協議会

【講演】13:30～14:20

「成年後見制度の仕組み」

講師：大田区社会福祉協議会成年後見センター長 岡田純子 氏

【シンポジウム】14:30～15:30

パネラー：大田区高齢福祉課課長 佐々木信久 氏

大田区社会福祉協議会成年後見センター長 岡田純子 氏

大田区社会福祉協議会成年後見センター 田島嵩大 氏

おおた社会福祉士会会長 田端千英 氏 他 社会福祉士

【無料個別相談会】15:40～16:30

日時：2014年11月24日（月・祝）13:30～16:30（13:00 開場）

会場：大田区役所本庁舎2階 大田区蒲田5-13-14

交通：JR蒲田駅・東急蒲田駅から徒歩

定員：150名 参加費：無料

申込方法：事前申し込み不要です。直接会場にお越しください。

【公開講座キャッチフレーズ】

この冬、創立21周年のおおたの会が渾身のソーシャルワークを世に問う！『成年後見制度って何ですか？』
あなたは150名の観客と共に自己覚知する。赤いハッピーが織りなす衝撃のラストを見逃がすな！

〔塩原匡浩（おおた社会福祉士会役員）〕



「第2回地区会交流会」のお知らせ

地区会交流会は、東京社会福祉士会の地区会の代表者（有志）が実行委員を組織して企画しています。地区会交流会の活動を通し、東京全体の地区会活動を活性化する試みにつなげることを目的としています。東京都内にある各地区会を視察・見学して巡るため、実際の地区会イベントと連動させて活動しており、第2回地区会交流会はおおた社会福祉士会の公開講座に併せて開催することになりました。

日時：2014年11月24日（月・祝）17:00～19:30（予定）

会場：未定（蒲田駅近くの飲食店を予定）

参加費：3,500円（予定）

申込方法：参加希望の方は、おおた社会福祉士会事務局<otachikukai@yahoo.co.jp>まで

※詳細は決まり次第、おおた社会福祉士会のウェブサイト他、東京社会福祉士会ニュース10月号・11月号で順次発表いたします。

【無料相談員のお願い】

区民公開講座当日は「個別無料相談会」を同時に開催します。

相談・受付のお手伝いをしていただける会員を募集していますので、事務局メールあてにご連絡ください。

おおた社会福祉士会のメーリングリストをご活用ください！ 広報担当：生駒友一

おおた社会福祉士会では、「おおた社会福祉士会チーム員」という名称のメーリングリストを利用しています。「おおた社会福祉士会チーム員」のメールアドレス<otachikukai@freeml.com>にメールを送ると、そのメールが登録しているメンバー全員に届く便利なサービスです。

1. メーリングリストに登録済みの皆さまへ

おおた社会福祉士会メンバーへのお知らせや情報交換のツールとして、ぜひ積極的にご活用ください。すでに何人かの方には活用していただいておりますが、たとえばイベントの告知にもご利用ください。職場や地域のお祭り、講演会や勉強会など福祉・医療・介護関連のイベントのご紹介も大歓迎です。ぜひお気軽に情報をお寄せください。

2. メーリングリストに未加入の皆さまへ

「まだ所属チームを選べない」などの理由で、チームに所属していない会員の方も、メーリングリストには参加できますので、ぜひご加入ください。おおた社会福祉士会からの情報がいち早く受け取れることはもちろん、会員限定で定例会の動画や資料などを共有しています。また、メンバーからイベント紹介などの情報も流れています。（無料の「freeml」のサービスを利用しているため、メールの最後に広告がありますが予めご了承ください。）

おおた社会福祉士会チーム員のメーリングリストに加入を希望される場合は、「メーリングリスト登録希望の旨」「お名前」「登録希望メールアドレス」を下記あてにお知らせください。

おおた社会福祉士会事務局メールアドレス<otachikukai@yahoo.co.jp>

3. 利用上のお願い

- (1) ・メールの読み手が判別し易く、また宛て先を明確にするためにも「全チームの皆さま」「ケアマネジメントチームの皆さま」「権利擁護チームの皆さま」「地域福祉チームの皆さま」などのタイトルを文頭に入れてください。
 - ・発信者がわかるように、メール本文にお名前を入れてください。
- (2) 転送歓迎などの表記がない場合には、メーリングリストからの情報を外部に出さないようお願いいたします。情報を第三者等に提供したい場合は、発信者にその旨を伝えて許可を取るようにしてください。

編集後記

去る8月6日に小田和正さんのコンサートに行ってまいりました。

10代の頃からファンで追いかけてつづけてきていますが、彼も66歳だそうです。ということは彼の手元にも「介護保険被保険者証」が届いているのだろうか、などと職業柄つつい考えてしまう「秋の気配」を感じる今日この頃であります。（笹）